

□坂本論文に対する内海さんの見解と加藤さんのコメント

坂本様

お読みしました。ありがとうございました。要は坂本さんがおっしゃりたいのは  
TPP 推進 =貿易の自由化の推進=開国だ！と欧米とそれの手下の日本の広告代理店と官僚が喧伝  
坂本さんの主張は

- (1)円高が進む
  - (2)関税の撤廃は日本には円高差益で相殺されメリットが少ない
  - (3)農業などが輸入品によって壊滅する
  - (4)中小企業も壊滅する
  - (5)メーカーの海外調達・移転が増え国内のメーカーに関わる失業者が増える
  - (6)日本のメーカーは貿易黒字を生み出すとよりいっそうの円高を作ってしまう
- ゆえに、今までどおり関税障壁を設けて「鎖国しておけ」でしょうか。

こんなポイントでしょうか。

(1)の円高が坂本様が TPP に日本のメーカーやそれにくっついている中小企業が耐えられない点だとい  
います。この要素が坂本さんの主張の是非をわけていると思います。

でも、円高は TPP とは関係なく現在も進行中で、60 円、50 円ぐらい平気でいくのではないのでしょうか。  
だから、円高の要素は TPP とは関係あるようでさほど関係ないです。

(2)の関税の撤廃のメリットが日本にはあまりないという点ですが、これは何を意味しているかという  
と、日本が今までどおり欧米に対する「輸出」国として、台頭してきた韓国や中国と同じ目線は土俵でビジ  
ネスをしたりビジネスモデルをつくってはいけないということではないのでしょうか？そういう韓国や中  
国と同じ土俵でやろうとする日本がいけないのではないですか？

(3)農業が輸入品で崩壊する。これは自国の愚かな経団連と東電の「原爆」で福島原発が爆発して大量の  
放射性物質が日本全土を覆ったので、もはや 30 年ぐらい勝手に崩壊していると思います。

(4)中小企業も、メーカー依存のビジネスモデルしかない企業はつぶれますが、そういう会社はそもそも  
経営判断が間違っているだけで、さぼってきたツケです。世の中はどんどん変わっているんですから、  
それにあわせて生き残るように中小企業のオッチャンもビジネスモデルを作り直してやればいいので、  
事実上の生活保護状態です。それに甘んじて自分の楽して儲けてきた領域が破壊されるのでブーブー文  
句言っているのではないのでしょうか。

(5)も、すでに日本のメーカーもいっぱい TPP と関係なくやっけてしまっていて、そのせいで、国内のメーカ  
ーの労働者がどんどん正社員から契約、派遣に不安定化され、挙句の果てにパナソニックの 1 年足らずの  
最新液晶テレビ工場閉鎖みたいな事態になっているので TPP があろうとなかろうと進行する事態ではな  
いのでしょうか。

(6)は国の政策を変えるべきで、ためこんだ貿易黒字をどう活用するか？ということ考えたほうがいい  
のではないかと思います。本当はその黒字で、日本が宗主国となって途上国に投融資して牛耳って金利  
で稼げばいいのですが、あんまりそういうことはしないようです。途上国の農地や鉱山、企業をどんど  
ん買い占めて支配すればいいのではないですか？

日本は、これから TPP によって広がる第二次植民地主義ブームに欧米ともにつかって、どんどん国際

企業化して、世界中の途上国に欧米と同じく「支配」をするべきだと思います。それに乗り遅れた企業は淘汰されますが、それは自由で自然な経済の当然の営みなので、それを制限することはむしろ、国家社会主義による計画経済になるだけです。誰もよしとはしないでしょう。

もちろん、日本の農水省と農家は高品質なコメや農産物を海外に高付加価値で売るといったビジネスを見出せなければ死ぬでしょう。だから、国が農民を生活保護で「農林公園職員」として雇って給料あげてあげればよいと思います。国土維持のためにはそれで十分かと思います。

日本人はフランスから高価なフォアグラを毎年空輸してありがたがって東京のレストランで食べているのに、それと同じことを海外に日本の食材でしようという発想がないのが不思議です。それほどへばなものを日本の農家は作ってきたのでしょうか？

焼酎や、日本酒をどんどん世界で飲んでもらって、輸出サイクルができるように料理研究家や広告代理店を活用したらいいのではないのでしょうか？

「アニメ」「オタク」はいまや日本の輸出ブランドになったのですから、できないはずはないと思います。あとは坂本様がつぶれると思われる、国の独立に必要な、基幹産業や、メーカーの部品産業も重要な部分だけ国策的に生活保護生かして温存すればいいでしょう。そうすれば、危機の場合、日本が鎖国しても完結して自国内で産業を維持できます。

そういうポイントだけ国が、国家戦略として面倒みればいいのでは？

もちろん、私はなげやりに書きましたが、今起こっているのは、貿易戦争が最終的には世界大戦になるという歴史の必然性のプロセスです。残念ですが、これから世界は戦争の時代に突入すると思っていますので、それを食い止めるためにはどうするか？ということをもうちょっと欧米の指導者層に説くべきだと思いますが、たぶん耳を貸さないと。あとは、金の延べ棒を持っておくか、核兵器や精密誘導兵器でもしこたま保有しておくかという状況です。

円高は、坂本様がおっしゃるような自然現象ではなく、世界の一握りのお金持ちが動かして偽造している「カジノ」ですから、その元締めと交渉して、説法して、心を正してもらわなければならないかと思っています。

そもそも、経済に自然とか均衡とかあんまり自然科学の法則をあてはめてもしょうがないんじゃないでしょうか？すべて人為的なんですから。

TPP もその元締めが打ち上げた花火であり、現象だけ見ていると右往左往するだけで結果として手品師の思うつぼではないでしょうか。

内海

内海さん

全く同感です。これはワシントン、イスラエル、バチカン、ブラッセル、ロンドンも噛んでいる貴職が欧米と指摘したいわば

1. 欧米支配体制を更に強化する

2. 中国を **engagement** と **hedging** の戦略で牽制しハブとスポークスの戦術で真綿のように囲い込むツールです。日本のトップの官僚と政治家はわかっているけど追随するしか無いはず。欧米の支配勢力の凄さをわかっている貴職のコメントだと思います。

加藤 春一

東京エグゼクティブ・サーチ株式会社 <http://www.tesco.co.jp/> 取締役 最高顧問 グローバルサーチ  
担当 ITP Worldwide executive search 日本代表